

特別養護老人ホーム 尼子苑

鉄板焼きそば屋台！

5月20日、入所者の皆さんに焼きそばを振る舞わせていただきました。

前日まで晴れ予報で安心していたにもかかわらず、当日には曇り空で雨天中止を心配しましたが、無事に苑庭で焼きそば作りを行うことができました。

尼子苑自慢の鉄板の周りに集まって職員が焼きそばを豪快に焼く姿を見て、「すごいね！」「美味しそうだね！」と楽しそうな声が上がっていました。

焼きそばのソースの香ばしい匂いに誘われて、いつもは食が細い方もモリモリ食べられる姿を見る事ができました。最後に感想を伺うと皆さん口を揃えて「美味しかった」と言ってくださいり、私達も嬉しくなりました。

コロナ禍の今こそ、鉄板の出番が増えそうです。次は何を焼こうかな？乞うご期待！！



太陽とみどりの里



法人事務局

新人紹介



4月から太陽とみどりの里法人事務局で働かせていただいています。初めての環境ですが早く慣れて、皆様のお役にたてるよう一生懸命努めて参りますのでよろしくお願ひいたします。

特別養護老人ホーム 尼子苑

鉢本 桃夏

2月から尼子苑で働かせていただいている。介護の仕事を携わるのは初めてですが、毎日先輩方からたくさん学び、努力する事を怠らずに精一杯頑張りたいと思います。

山本 琉輝

4月から尼子苑で働かせていただいている。まだ分からない事だらけで不安ですが、少しでも早く仕事の流れを覚えるようにして、利用者の方との関わりを大切にしたいです。

第 57 号
令和4年7月発行
発行・編集
社会福祉法人
太陽とみどりの里
電話 0854-32-9070
ホームページアドレス
<http://amago-taiyo.jp/>

太陽とみどりの里

検索



比田デイサービス

柴田 弓男

今年1月より比田デイサービスでお世話になっています。入社して今日まで、施設長をはじめとして、スタッフ一同様に支えてもらい5か月が過ぎようとしているピカピカの…？おじさんです。

今年は利用者様の安全と明るい職場づくりをモットーに努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします！

荒川美紀子

1月から比田デイサービスでお世話になっています。利用者様の笑顔に癒され、元気を頂き、日々楽しく仕事をしています。地域の福祉に貢献できるよう努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

太陽デイサービス

園芸活動

5月より太陽デイサービスでは園芸活動を始めました。利用者様と一緒にひまわりの種、キュウリ、サルビア、サツマイモの苗を畑やプランターに植えていきました。毎年恒例の行事ですが、植物の成長をホールやテラスに出て確認したり、これまで畠仕事をされてきた利用者様には追肥のタイミングや育て方を教えていただいている。収穫したキュウリは塩もみや酢の物に、サツマイモはスイートポテトや大学イモにして皆様に食べてもらっています。

どんな花が咲くのか、どのくらい実が付くのか植物の成長過程を利用者のみなさまと一緒に楽しみたいと思います。



広瀬デイサービス



つぶやき、大歓迎

「昔、月山に毎月登山したなあ。また登りたいなあ」と送迎車内で利用者の方のつぶやきを耳にします。おひとりではなく、広瀬で生まれ育った方々から同じようなつぶやきを聞きます。「この同じつぶやきって何?」その言葉に興味関心が沸き、利用者の方との会話や昔話から当時の様子を窺い知ることができました。月山登山の夢に向けて、歴史資料館で広瀬の歴史について学び、さらに月山富田城など戦国時代に想いを馳せながら史跡を巡りました。つぶやきのおかげで広瀬の歴史の奥深さなど広瀬の魅力を再発見することができました。

日々の会話やつぶやきの中から利用者皆様の想いや願いを見つけ、その想いを形に出来るデイサービスでありたいと思います。

最後に、広瀬っておもしろい!

比田デイサービス

花でつなぐ地域の輪

今年の地域貢献活動について職員で検討した際、比田デイサービスで育てた花を比田郵便局に置かせていただき、地域の方に鑑賞していただければという案が出てお願意したところ、快諾していただきました。

6月1日、利用者様2名と一緒に郵便局に行き、皆様にも見ていただけるように入口近くの場所に花を置かせていただきました。デイサービスからご近所ということもあり、利用者様にも散歩がてら花見や水やり等をしていただき、地域交流に繋げていけたらと思っています。



太陽ヘルパー

ヘルパー現場からの気づき

こんにちは、太陽ヘルパーです。令和4年度研修会では『高齢者虐待』について学びました。虐待が発生する原因是、統計によると介護負担、介護疲れからのストレス、知識不足によるものが上位を占めていると知りました。改めて訪問介護の業務とは、ご本人の支援は勿論の事、在宅で介護をされているご家族への負担軽減の為にも、重要なサービスであると再確認できました。

今後も百人百通りのケアが提供できる事業所であるよう勉強し続けたいと思います。



グループホーム なごみ

天気の良い日は
テラスでカフェ気分



~日常生活に小さな楽しみをプラスして~

コロナ禍になって3度目の夏がきました。施設内にウイルスを持ち込まないように様々な制限をしていますが、特に面会の制限は入居者様に大きな負担となり、ストレスになっていると感じています。そんな中で私たちスタッフに出来ることは?と日々、模索しながら、日常生活の中で、いつもと違う小さな楽しみを提供していくたいと思っています。

玉ねぎの収穫・・
今年は玉ねぎが高騰!!
お味噌汁や煮物に重宝します



母の日には大きな
スイカで感謝!!

ご近所へお花見弁当持参
(八幡町川沿い)



事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

単位：円

勘定科目		当年度決算額
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益 障害福祉サービス等事業収益 経常経費寄附金収益 その他の補助金収益 サービス活動収益計(1)
	費用	人件費 事業費 事務費 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額 サービス活動費用計(2)
	サービス活動外増減の部	サービス活動外増減差額(3)=(1)-(2)
	特別増減の部	サービス活動外増減差額(4)=(5)-(6)
	収益	受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益 サービス活動外収益計(4)
	費用	その他のサービス活動外費用 サービス活動外費用計(5)
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)
		経常増減差額(7)=(3)+(6)
	費用	施設整備等補助金収益 特別収益計(8)
	特別増減の部	固定資産売却損・処分損 国庫補助金等特別積立金積立額 特別費用計(9)
当期活動増減差額(10)=(7)+(10)		14,733 1,011,034 1,025,767 523,522 523,522 502,245 13,752,859 4,818,000 4,818,000 9,516,829 6,416,000 15,932,829 -11,114,829 2,638,030

詳細はホームページをご覧ください
ホームページアドレス <http://amago-taiyo.jp/>

太陽とみどりの里

検索



～鶏むね肉の南蛮漬け～

鶏むね肉は低カロリーで高たんぱく質な食材です。あっさりして食べやすく、疲労回復に効果のある栄養素も含みます。脂が少なくバサバサしやすいですが、そぎ切りにして厚みを薄くすることで揚げ時間が短くなり、しっとりして食べやすくなります。



材料 4人分 (1人分 222kcal)

* 鶏むね肉…1枚(300g位)	* 醤油…大さじ2	* ニンニクチューブ…2cm
* なす中…2本	* みりん…大さじ1	* 油…適量
* ピーマン…2個	* 砂糖…大さじ1	* 塩、胡椒…少々
* 酢…大さじ2	* 片栗粉…大さじ2	

作り方

- ① 鶏むね肉を縦半分に切り、さらに一口大にそぎ切りする。
塩コショウを振り、片栗粉をまぶしておく。
- ② なすは斜めに切り込みを入れ、食べやすい大きさに切る。
ピーマンも食べやすい大きさに切る。
- ③ ポウルに酢、醤油、みりん、砂糖、おろしニンニク、唐辛子を入れよく混ぜておく。
- ④ 鍋に油を3cm程度入れ、熱くなったら①をカラッと揚げ、なすとピーマンは素揚げする。
- ⑤ ③の調味料に④を漬けたら出来上がり。

まだまだ暑い日が続きます。
しっかりと水分補給をし、「熱中症」
「脱水」を予防し、暑い夏を乗り切ら

り切りましょう。
まだまだ暑い日が続きます。
しっかりと水分補給をし、「熱中症」
「脱水」を予防し、暑い夏を乗

り切りましょう。
まだまだ暑い日が続きます。
しっかりと水分補給をし、「熱中症」
「脱水」を予防し、暑い夏を乗

掲示板

ご寄付 R3.12.1～R4.6.30

安来市広瀬町	山本 弘幸 様
安来市広瀬町	中島 寛志 様
安来市広瀬町	近藤 直樹 様
安来市広瀬町	細田 初枝 様
安来市広瀬町	近藤 和彦 様
安来市柿谷町	三嶋 重枝 様
安来市広瀬町	加藤 孝二 様
安来市宮内町	羽賀二七一 様
安来市黒井田町	宮崎麻由美 様

安来市社会福祉協議会 様より歳末助け合い募金配分金をいただきました。

ご寄付をありがとうございました。
社会福祉向上のため大切に使わせていただきます。

あとがき

「昔はこんなに暑くなかった」と会話する毎日です。この時期になると、「猛暑」「酷暑」など人体にとって危険な暑さを示す言葉を耳にする口が多くなります。「猛暑日」は、昔からあったのでしょうか。調べてみると明治初期にはすでに猛暑日はあったと記録されています。

しかし、短い期間内に頻発するようになつたのは、ここ最近のようです。このような時期になると「水分・塩分を適度に摂りましょう」等、熱中症対策への呼びかけが行われますが、私が中学生だった一九九〇年代は運動中は水を飲むな」「水を飲むとバテる」という時代でした。今考えると、恐怖さえ感じます。しかし、当時はそれが常識でした。そのため先生に見つからないように顔を洗うふりをしてこつそり水を飲んでいたことを思い出します。その頃は「熱中症」の言葉を聞いた記憶がありません。